

活水学院 中期計画

2022（令和4）年度～2026（令和8）年度

伝統と、新たな価値の創出。

2029年のその先へ――



学校法人 活水学院

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50

TEL.095-822-4107 / FAX.095-828-3702

<https://www.kwassui.ac.jp>

活水学院は2029年に創立150周年を迎え、今回の中期計画は、そのための助走路にあたります。明治開国期の創立以来、活水学院が築いてきた大切な伝統を礎に、地域や国際社会の発展に貢献する女性の育成に努めてきました。学院は新たな価値を、地域社会のステークホルダーの皆様とともに未来へつなぐ想いを共有し伝統と革新が共存する活水学院を作り上げていきたいと考えています。

活水学院の継承と さらなる発展をめざして

未来への誓い

【ビジョン】

建学の精神に則り、自由と責任を自覚し、自立の能力を具えた次の時代を担う女性の育成を目指す。

【未来への架橋】

活水学院は、創立 150 周年に向けて、地域の未来を共に考え創る、活力に満ちた価値共創の担い手として地域密着型の教育機関を目指してまいります。

キーワード：女性リーダー、国際性

使命

～150 周年へ向けた新たな飛躍のための挑戦～

【伝統の継承】

活水学院は、キリスト教の信仰に基づく愛と祈りを通し、人と社会への責任を果たす「次の時代を担う女性」を世に送り続けてきました。

【直面する課題】

長崎の地は、人口減少と高齢化が地域経済を衰退させる負のスパイラルに陥っています。また、女子のみの教育に関する議論は、賛否含めてさまざまに行われています。本学が向かうべき挑戦もこれらの課題に集約されます。しかしながら、これまでも苦難の歴史を活水学院は幾度となく乗り越えてきました。

【理想と幸福の追求】

活水学院は、生徒・学生・教職員が、建学の精神を確信し、希望をもって「次の時代を担う女性」を育てる教育を実践します。そして活水学院につらなる保護者・卒業生、地域社会のすべてが笑顔と喜びをもって活き活きと、未来の希望を語ることができる理想と幸福を追求します。

基本方針

【6つの方針】

1. 「建学の精神」を土台とする人格教育とキャリアデザインの構築
2. 地域社会に根ざした知的インフラの構築と研究推進力の強化
3. 地域密着による社会連携、貢献と生徒・学生の多様な価値を尊重する教育実践を通じた専門職業人の育成
4. 入学前・在学中・卒業後の一貫した学修者支援の体制構築と生涯教育の実現
5. 学院広報の強化ならびに活水プライドの醸成
6. 各施策を実現するための健全かつ安定した財務基盤の構築および寄付金戦略の高度化

教育の精神

【建学の精神】

活水学院は、神の愛によるキリスト教の信仰に基づいて教育を行う

【課題解決への導き】

「3章12節 わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。
なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、
3章14節 神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」
(フィリピの信徒への手紙 3章12～14節から)

創造

【目標と計画のテーマ】

1. 教育改革
2. 研究力高度化
3. 地域連携、社会貢献の推進
4. 経営改革及び財務基盤強化
5. 学生・生徒支援
6. ブランディング構築

スクール・
モットー
いのち
知恵と生命との泉
—主イエス・キリスト—
に掬べよ
(ヨハネによる福音書4章14節)

